

スポーツ大学における喫煙率

今田 晶 (競技スポーツ学科 トレーニング・健康コース)

指導教員 高橋 正行

キーワード：タバコ，喫煙率，大学

1. 緒言

本学は 2003 年開学当初から学内敷地内全面禁煙となっている。しかし，学外に一步出たり，比良駅から学校までの通学路での喫煙が多く見受けられ，現在取り締まっている現状だ。その中でも，本学学生の喫煙率は年々減少しているが，過去のデータを見ると学年が上がるにつれ増加している傾向がある。スポーツに携わっている学生や健康について学んでいる本学から言えば喫煙率の減少が期待されるが，毎年学年が上がるにつれ増加している。

そこで本研究では，質問紙調査より本学学生の喫煙率を前年度までの喫煙率と比較し，のような変化を調べていき，なぜ毎年学年が上がるにつれ喫煙率が増加してゆくのか調査する。

2. 研究方法

2013 年 4 月に実施された健康診断時に本学学生にタバコについて無記名の自己記入による質問紙調査を実施した。対象は 2013 年度 1～4 年次生の男女 1094 名。今回実施した質問紙調査の他に過去の本学学生の喫煙率の調査結果も用いた。

3. 結果と考察

男子学生喫煙率年次推移 (図 1) から，去年の結果と一緒に 1 年次の喫煙率は年々減少傾向にあるが，学年が上がるにつれ喫煙率が増加していつことも分かった。女子学生喫煙率年次推移 (図 2) からは 1 年次生は喫煙率 0%，2 年次生は 2 年連続喫煙率

0%とすばらしい結果が出た。

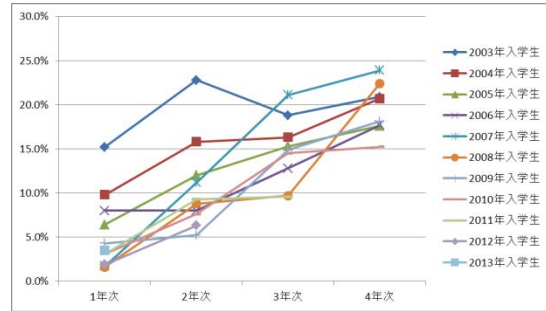


図 1 男子学生喫煙率年次推移

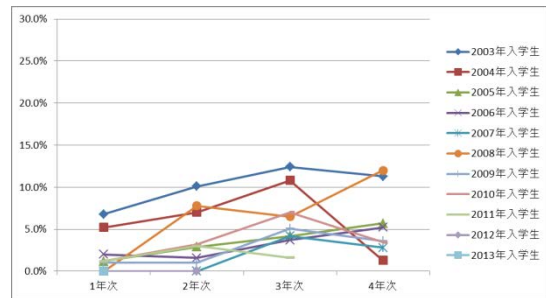


図 2 女子学生喫煙率年次推移

4. まとめ

男子学生の喫煙率は減ってはきているものの 0%ではなく，学年が上がるにつれ喫煙率が増加気味に対し，女子学生は 2 年連続 0%と順調に学内敷地内全面禁煙の成果がでてきていることが明らかになった。

参考文献

中川 浩太郎 (2011)

スポーツ大学における喫煙率に関する研究
びわこ成蹊スポーツ大学卒業研究 177